

2023年11月 現在

## FUJITSU Software

### 通信制御サービス V9.3.0

通信制御サービス V9は、FNAプロトコルやLAN関連の各種プロトコルで、富士通ホストコンピュータや中継制御装置（FNA Serverなど）と通信を行う機能を提供します。

本商品では、富士通ホストコンピュータのみに対応します。

- ・ クライアント

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

・ クライアント

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

### 1. WSMGR通信機能

WSMGR V9(別売) などに対して基本通信機能を提供します。通信制御サービス V9では、以下の手順をサポートします。

- ・ホストコンピュータとの通信に関して、次の接続手順をサポートします。
  - FNALAN接続
  - FNAonTCP/IP接続 (\*1)
  - TN6680接続 (\*1)
- ・中継制御装置(FNA Serverなど)との通信に関して、次の接続手順をサポートします。
  - NMCLAN接続
  - TCP/IP接続(CU-DEVonTCP/IP接続) (\*1)
  - TN6680接続 (\*1)
  - FNAonTCP/IP接続 (\*1)

\*1 : IPv4およびIPv6をサポート

---

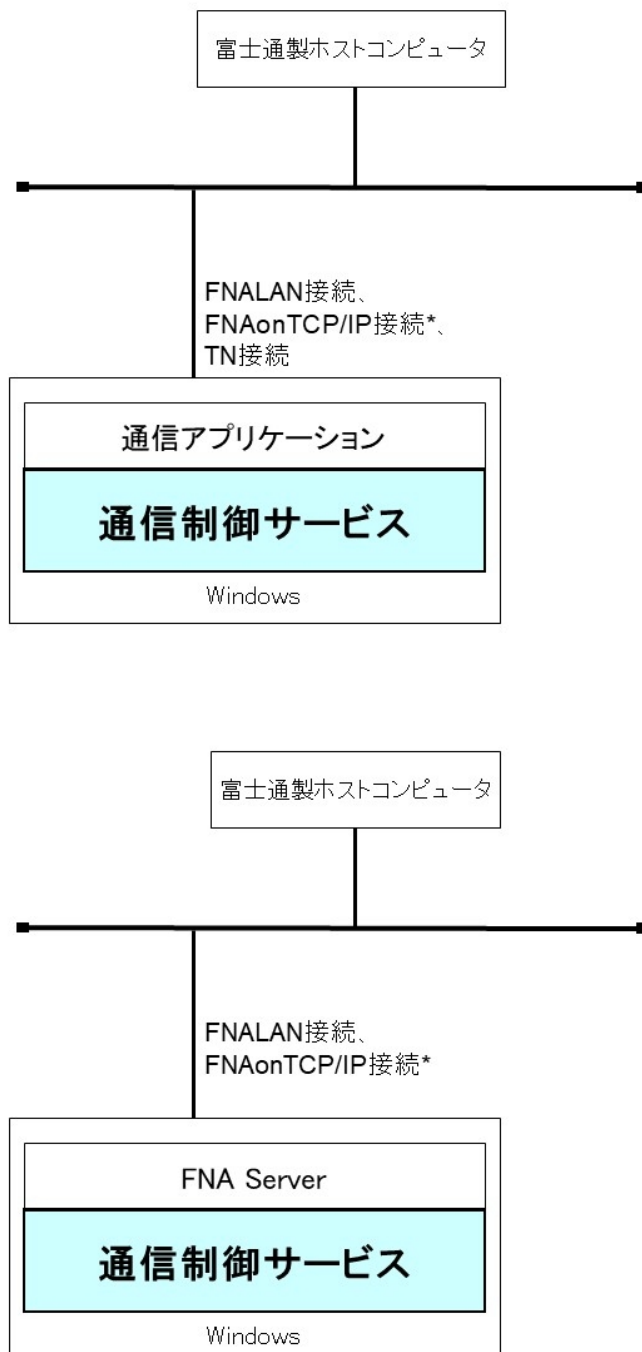
### 2. FNA Server通信機能

FNA Server V9(別売) に以下のホスト通信機能を提供します。

- FNALAN接続
- FNAonTCP/IP接続 (\*1)

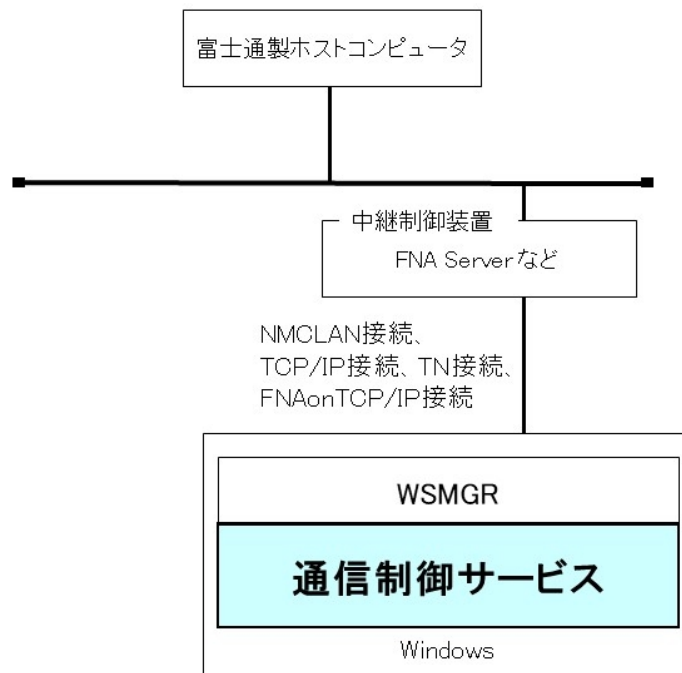
\*1 : IPv4およびIPv6をサポート

・ホスト直接接続



\* GSシリーズと接続する場合は、NETSTAGE/FICなどのFNAonTCP/IPの一次局機能を持つ制御装置が必要です。

・中継制御装置接続



## 新規機能

V9.1.0からV9.3.0の機能強化項目は以下の通りです。

### 1. Windows 11に対応

動作環境としてWindows 11に対応しました。

---

### 2. Windows Server 2022に対応

動作環境としてWindows Server 2022に対応しました。

## 標準添付品

- ・ オンラインマニュアル
  - ・ 通信制御サービス V9 使用手引書
  - ・ 定義情報ファイル説明書



### 【メディア】

- ・ 通信制御サービス メディアパック(32bit) V9.3.0
- ・ 通信制御サービス メディアパック(64bit) V9.3.0

### 【ライセンス】

- ・ 通信制御サービス 1ライセンス(月額) V9
- ・ 通信制御サービス 20ライセンス(月額) V9

### 1. メディアパックの種類について

本商品には、2種類のメディアパックがあります。動作OSによりメディアパックが異なりますので注意が必要です。

#### (1) 通信制御サービス メディアパック (32bit) V9.3.0

以下のOS上で32ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows 10 (32 bit)
- Windows 8.1 (32 bit)

#### (2) 通信制御サービス メディアパック (64bit) V9.3.0

以下のOS上で64ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows 8.1 (64 bit)
- Windows 10 (64 bit)
- Windows 11 (64 bit)
- Windows Server 2012 (64 bit)
- Windows Server 2012 R2 (64 bit)
- Windows Server 2016 (64 bit)
- Windows Server 2019 (64 bit)
- Windows Server 2022 (64 bit)

### 2. メディアパックについて

メディアパックは、媒体（CD-ROM等）のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。また、商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。バージョンアップ/レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

### 3. 月額ライセンスについて

従来の一括ライセンス商品から、月額ライセンス商品に変更になりました。初期導入コストを抑制し、使用期間に応じた購入が可能です。インストール用のメディアは付属しておりませんので、別途メディアパックを購入してください。

### 4. ライセンスの購入単位について

本商品は、コンピュータ1台毎に1ライセンスを購入してください。複数台のコンピュータに適用する場合は、その台数に応じたライセンス数の購入が必要です。

### 5. リモートデスクトップサービス (RDS)/XenApp運用時の購入方法

(1)本商品を利用予定のRDS/XenAppクライアント毎に通信制御サービスのライセンスが必要です。

(2)以下の環境に対応しています。

- ・ Windows Server 2022 リモートデスクトップサービス(RDS)
- ・ Windows Server 2019 リモートデスクトップサービス(RDS)
- ・ Windows Server 2016 リモートデスクトップサービス(RDS)
- ・ Windows Server 2012 R2 リモートデスクトップサービス(RDS)
- ・ Windows Server 2012 リモートデスクトップサービス(RDS)
- ・ Citrix XenApp 7

## 6. V9.0.0以降からのレベルアップについて

V9.0.0以降の本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新レベルを提供します。また、32ビット商品と64ビット商品間での切り替えも可能です。(お客様からのご要求が必要です。)

- ・通信制御サービス V9.0.0/9.1.0

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新レベル商品を改めてご購入いただく必要があります(価格の優遇はございません)のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問い合わせください。

---

## 7. V7.1/7.2/8からのバージョンアップについて

以下の一括ライセンスをお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新版を提供します。また、32ビット商品と64ビット商品間での切り替えも可能です。(お客様からのご要求が必要です。)

バージョンアップ後もライセンス形態は一括ライセンスのままとなります。

- ・通信制御サービスV7.1/7.2/8
- ・Server2000ホスト連携プレミアム V7.1
- ・ホスト連携プレミアム V7.2

「SupportDesk」を導入されていない場合は、最新版商品を改めてご購入いただく必要があります(価格の優遇はございません)のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問い合わせください。

---

## 8. ダウングレード使用について

本商品のライセンスを購入することにより、本商品の旧バージョン/レベルを使用する権利を得ることができます(以降「ダウングレード使用」とします)。

「ダウングレード使用」を適用する際には、旧バージョン/レベルの商品のインストール媒体をお客様が既に購入されていることが前提となります。

購入が必要なライセンス数については、本商品のライセンス購入方法にしたがってカウントします。

「ダウングレード使用」を適用する際は、本商品のライセンス購入方法にしたがって月額ライセンスとして扱います。

なお、本商品と旧バージョン/レベルの商品を同時に使用することはできません。

また、本商品の次バージョン/レベル以降を使用する権利はありません。

「ダウングレード使用」可能な商品は、以下のとおりです。

- ・通信制御サービス V7.1/7.2/8
- ・Server2000ホスト連携プレミアム V7.1 (同梱の通信制御サービスを利用できます)
- ・ホスト連携プレミアム V7.2 (同梱の通信制御サービスを利用できます)

## 関連ソフト

なし

なし

## 留意事項

### 1. Windows OS (64-bit)上での動作

本体製品とOSの組み合わせにより動作が異なります。詳細は「メディアパックの種類について」を参照してください。

### 2. オペレーティング システムに関する注意事項

次の環境下では本ソフトウェアを使用できません。

- ・ Windows Server OSでの Server Core、Nano Server
- ・ 64ビット版オペレーティングシステムのWOW64(Windows 32-bit On Windows 64-bit)サブシステム
- ・ Hyper-V のホストOS

### 3. WSMGR通信機能、FNA Server通信機能の接続形態について

WSMGR通信機能、FNA Server通信機能の接続形態一覧を以下に示します。

#### 接続形態一覧

|      |                             | WSMGR通信機能 |          | FNA Server通信機能 |
|------|-----------------------------|-----------|----------|----------------|
|      |                             | ホスト直接接続   | 中継制御装置接続 | ホスト直接接続        |
| 接続手順 | NMCLAN接続                    | —         | ○        | —              |
|      | TCP/IP接続 (CU-DEVonTCP/IP接続) | —         | ○        | —              |
|      | TN6680接続                    | ○         | ○        | —              |
|      | FNALAN接続                    | ○         | —        | ○              |
|      | FNAonTCP/IP接続               | ○*1       | ○        | ○*1            |

\*1:GSシリーズと接続する場合は、NETSTAGE/FICなどのFNAonTCP/IPの一次局機能を持つ制御装置が必要です。

### 4. IPv6通信における動作確認済み中継制御装置について

IPv6を使用した接続先として動作確認済の中継制御装置商品は、以下のとおりです。

- FNA Server(Windows製品)
- ・ FNA Server V7.1/7.2/8/9 : 端末とFNAonTCP/IP接続、TCP/IP接続、TN6680接続が可能です。

### 5. コンピュータ名について

OSのコンピュータ名には、半角文字を使用してください。全角文字を使用すると、通信制御サービスのセットアップ情報がWSMGRなどの上位アプリケーションから参照できなくなる場合があります。

## 6. TN6680接続機能について

### (1) サポートTNゲートウェイについて

本ソフトウェアのTN6680接続は、次の動作確認済みTNゲートウェイとの接続をサポートします。また、動作確認済みゲートウェイと同等の動作を行う後継品 および 関連TNゲートウェイもサポートします。

- 当社製TNゲートウェイ
  - ・ TISP/BP(グローバルサーバ) TISPは除く
  - ・ FNA Server(Windows)
- 他社製TNゲートウェイ
  - ・ Microsoft(R) SNA Server(Windows)

### (2) DUETデータ転送を使用したアプリケーションについて

下記のDUETデータ転送(ファイル転送、会話型転送、SIA、テーブル転送など)を使用するアプリケーションは、他社製のTNゲートウェイに接続した場合、正常に動作しません。

- WSMGR APIオプション(WSAPIを使用した場合)
- DP/Cライブラリ

### (3) ローカルコピー機能について

- ローカルコピー機能は、次のTNゲートウェイ接続時のみ使用できます
  - ・ FNA Server V7.1/7.2/8/9

- ローカルコピー機能有効時は、次のエミュレーションキーが使用できます。
  - ・ PRINTキー
  - ・ DEVICE CANCELキー
  - ・ IDENTキー

### (4) エミュレーションキーについて

次のエミュレーションキーは使用できません。

- TESTキー

---

## 7. 管理コマンド (CSADMIN.EXE) およびセットアップ (CSCONFIG.EXE) について

(1) 管理コマンドおよびセットアップユーティリティは、通信制御サービスの同一バージョン・レベル間のリモート操作をサポートします。

(2) リモート操作をするコンピュータ(ローカルおよびリモート)はドメインに参加している必要があるため、以下のOSでのリモート操作はできません。

- ・ Windows 11 (Pro, Enterprise を除く )
- ・ Windows 10 (Pro, Enterprise を除く )
- ・ Windows 8.1 (Pro, Enterprise を除く )

(3) リモート操作を行うユーザーは、ドメインユーザーとしてログオンする必要があります。

(4) リモートコンピュータの管理者権限グループに、リモート操作を行うユーザーアカウントを登録する必要があります。

(5) セットアップユーティリティを複数ユーザーで同時に実行すると設定情報が期待通りに保存されないことがあります。

最初に起動したユーザーが定義を保存できます。

(6) DPI 設定を変更するとセットアップユーティリティの画面表示が乱れることがあります。

## 8. 電源オプションについて

本ソフトウェアが通信状態(通信相手とコネクションを確立している状態)にある場合は、Windowsの「電源オプション」の設定に関わらず、コンピュータが自動的にスリープ状態になることはありません。手動でスリープ状態にすることはできますが、スリープ状態にした場合、通信状態は保証されません。なお、ディスプレイについては、通信状態に関わらず「電源オプション」の設定どおりの動作が行われます。

## 9. 使用できる文字について

本ソフトウェアで使用できる文字は、シフトJISの範囲の文字です。それ以外の文字を入力した場合の動作は保証いたしません。また、それ以外の文字を含む名前のフォルダやファイルに対する操作はエラーとなります。

## 10. フェールオーバー クラスタについて

本ソフトウェアはフェールオーバー クラスタには対応していません。

## 11. LUの共有について

FNA Server を使用する場合、CU-DEVプロトコル変換を行う接続手順(NMCLAN接続、TCP/IP接続)と、FNAonTCP/IP接続またはTN接続との同時動作では、同一のLUを共有して通信を行うことはできません。

## 12. SANブート/自動リカバリについて

通信制御サービスがサポートする以下の接続手順では、通信相手を特定するための情報として、コンピュータに搭載されているLAN(オンボードLAN、LANアダプタなど)のMACアドレスを使用します。

(1)WSMGR通信機能

a. ホスト接続形態

- FNALAN接続

b. 中継制御装置接続形態

- NMCLAN接続

SANブート/自動リカバリ環境での運用や、ハードウェア交換などでLANのMACアドレスが変更になった場合は、通信制御サービスおよび通信相手側での設定変更が必要です。

## 13. PRIMECLUSTER GLS for Windowsについて

・ FNALAN接続、NMCLAN接続

PRIMECLUSTER GLS for Windowsが、通信経路で異常を検出して通信経路を切り替えたときに、送信リトライタイムアウトによりコネクションが切断された場合、

セットアップユーティリティのFNALANインターフェイスの設定、またはNMCLAN接続の設定で、タイマ情報のT4タイマ(ENQ 送信後 RR/RNR 受信待ち)の再送回数を増やしてください。

## 14. 無線LAN環境について

・ FNALAN接続、NMCLAN接続

無線LANアクセスポイントが、非TCP/IP接続(FNALAN接続、NMCLAN接続)をサポートしていない場合があり、通信ができない場合があります。

事前に機器仕様を確認してください。

## 15. Windowsの高速スタートアップについて

・ 回線保持機能

セットアップユーティリティのFNALANインターフェイスの設定、およびFNAonTCP/IPインターフェイスの設定で、詳細情報の回線保持機能を"使用する"に設定している場合、シャットダウンして再起動したときに、接続に失敗することがあるため、コントロールパネルにある電源オプションで、"高速スタートアップを有効にする(推奨)"のチェックを外して無効にしてください。



## 16. Hyper-V仮想環境について

Windows Server 2012 Hyper-VまたはWindows Server 2012 R2 Hyper-V上の仮想環境(ゲストOS)で、FNALAN、NMCLANのいずれかを使用するためには、Windows ServerのホストOSに修正モジュールの適用が必要です。

Windows Server 2012 R2 の場合

ホストOSで、Windows Updateを実施して修正を適用してください。

Windows Server 2012 の場合

マイクロソフト社のWebサイトの、サポート技術情報(2902821)より、更新プログラムを入手し、ホストOSに適用してください。(2019年9月現在)

<http://support.microsoft.com/kb/2902821>

- ・修正プログラムのダウンロードページのご注意

修正プログラムのダウンロードページで、「修正プログラムを選択する」の製品欄に Windows 8.1、Windows 8 RTM が表示された場合、「Windows 8 RTM」が、Windows Server 2012 用修正プログラムです。

---

## 17. NICチーミングについて

- ・FNALAN接続、NMCLAN接続

フォールトトレランス機能のみ、動作実績があります。

フォールトトレランス以外の機能はサポート対象外です。

---

## 18. 前版との違い

[V9.1.0との比較]

特にありません。

[V9.0.0との比較]

下記OSでの動作はサポート対象外となりました。

- ・Windows Server 2008 R2
- ・Windows 7

[V8.0.0との比較]

- ・従来の一括ライセンス商品から、月額ライセンス商品に変更になりました。

### お客様向けURL

- FUJITSU Software (通信制御サービス)

本商品の詳細情報、サポート期間を掲載しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/ccs/>

- FUJITSU Software (ソフトウェアの一覧表 (システム構成図) と各種対応状況)

価格/型名の一覧 (システム構成図) を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>

- FUJITSU Software (インフォメーション&ダウンロード)

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>